

ウズベキスタン（タシュケント）の初等中等教育学校【MAKTAB-34】【MAKTAB-121】【MAKTAB-128】

に於いて「基本のキ／数学／ウズベキスタン語版」を2021年11月から継続的に利活用いただく事となりました。

2021/10/20

株式会社 学書

株式会社学書（代表取締役 田村茂彦）は JICA 受託事業『ウズベキスタン国地方学校教員の能力向上及び教育格差是正向け学習管理システム(LMS)普及・実証・ビジネス化事業 ※』に於いて、タシュケント市内の複数の初等中等教育学校（MAKTAB）で日本型民間教育サービスを活用した放課後教室の実証事業を行うために、「基本のキ／数学／ウズベキ語版」のパイロット版を作成し、2019年8月～2021年10月まで検証を進めています。

コロナウイルス対策として全国の学校が一斉休校になったことに伴いプロジェクトは一時停止となりましたが、ウズベキスタンの約500万人の子どもたちが学習を停止せざるを得ない現状を受け、ウズベキスタン政府/JICAと協議し、在宅オンライン学習を提供致しました。この間、個人学習による躓き対策や学習支援としてウズベキスタン国内に講師のリモートワークによる生徒サポート体制を構築致しました（2020年3月～4月）。

※ 本プロジェクトは株式会社デジタルナレッジ（代表取締役 はが弘明）が主幹の実証事業になります。

今回、実証事業を行っていた初等中等教育学校の【MAKTAB-34】【MAKTAB-121】【MAKTAB-128】にてそれぞれヒアリング内容に応じまして実証事業期間の終了後も、「基本のキ／数学／ウズベキスタン語版」の引き続きの利用希望いただきましたので2021年11月からもモニターとして利用をいただくこととなりました。また、2022年4月から実施予定の新たな“中学数学コンテンツ”のプロジェクトへの参席も了諾いただきました。合わせてウズベキスタン国民教育省附属の国立教育センターとも今後の普及拡充に関して協議を進めています。

<MAKTAB／各学校長からのコメント>

- 中学数学単元の苦手な箇所を何度でも繰り返し学ぶことができる（自宅・校舎）
- 通常の授業に充分にはついていけない生徒達の学習の機会として有効活用できる。
- コロナウイルス蔓延期にも数学学習を滞らせることなくシステムを有効利用できた。
- アフタースクールで中学数学の繰り返し学習のクラスを準備予定（ICT ルーム）
- デジタル形式の動画授業は子供達の関心がとても高く、保護者からも延長希望が多数ある。

基本のキ：「専任講師による映像授業」＋「専用のテキスト教材」の「デジタル」＆「アナログ」連動型の学習コンテンツ。

教科書各単元の「基本」を、映像授業と専用教材でわかりやすく学習できるコンテンツです。

「各単元の要点のまとめ＆確認問題」＋「解説動画」の一体型コンテンツを収録。

（中学1年生から3年生の英語・数学・国語・理科・社会）

映像コンテンツの総動画数は約2,000本（1本／約10分～20分）になります。

「個別指導」「集団指導」「家庭学習」など多様な状況でご活用いただけます。

詳細及び期間利用申込は【基本のキ】特設サイトをご確認ください。

⇒【基本のキ】特設サイト <https://www.gakusho.com/kihon-ki/>

会社名：株式会社 学書 (<http://www.gakusho.com/>)

本社：愛知県名古屋市北区楠 3-815

代表者：代表取締役 田村 茂彦

